

耐力壁の強さを競い合う「木造耐力壁ジャパンカップ」で アキュラホームがトーナメント優勝

株式会社アキュラホーム(社長:宮沢俊哉 本社:東京都新宿区)は9月27日(日)に開催された第12回木造耐力壁ジャパンカップにおいて、東京大学大学院木質材料学研究室、篠原商店と共同開発(チーム名:チーム匠)した耐力壁「あやめ(菖蒲)」で、耐力壁の強度を争うトーナメント戦で優勝、耐震部門1位、総合でも3位を獲得いたしました。



木造耐力壁ジャパンカップ

木造住宅の耐力壁の強さなどを競い合う木造耐力壁ジャパンカップは、阪神大震災の後、木造住宅の構造耐力向上、伝統工法の継承を目的として、NPO法人木の建築フォーラムが主催しスタートした大会で、毎年、大学、専門学校、住宅関連企業、設計事務所などが参加しています。大会はトーナメント戦を勝ち抜いた最も強度の高い耐力壁に贈られる“トーナメント優勝”と、強度だけではなく、コストパフォーマンス()にも優れた耐力壁に贈られる“ジャパンカップ優勝”の2つのタイトルがあります。

大会は、9月26日(土)、9月27日(日)に静岡県富士宮市の日本建築専門学校にて開催され、11体の耐力壁が出場し熱戦を繰り広げました。

大会規定によると、A.耐震性とデザイン性を加味したものを性能。B.材料費、加工費、施工費、さらにリサイクル性を考慮した環境負荷費を含んだ合計をコストとして計算。Aの性能をBのコストで割り、コストパフォーマンスが最も高い耐力壁がジャパンカップ優勝となります。

耐力壁「あやめ(菖蒲)」

「あやめ(菖蒲)」は、中央開口の周りに合板を4枚とりつけた、サッシ等の取り付けも可能な開口付き耐力壁です。

最大荷重: 46kN(大会公式記録) 1kN=0.102t、約4.7t。

共同研究: 東京大学大学院木質材料学研究室 篠原商店

今回取り組んだ「あやめ(菖蒲)」は、開口を取りながらも従来の耐力壁に勝る強度を持たせるため、木の特性を活かした部材の選定、加工を行いました。また、環境に配慮した国産材の使用や伝統工法と現代の技術を組み合わせ、強さだけではないベストバランスの耐力壁となりました。今後、実用化に向けてさらに研究開発を進めていきます。

< 本件について報道関係からのお問い合わせ先 >

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・山本

Email: horikosi@aqura.co.jp

住所: 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F TEL:03-6302-5010 (直通) FAX:03-5909-5560

ホームページ: <http://www.aqura.co.jp>

以下資料

試合手順

試合は土台を固定した2つの耐力壁の桁同士の間にはジャッキを装着し、そのジャッキを縮めて引き合わせる形で徐々に負荷をかけていきます。片方が破壊されるまで引っ張り合うか、破壊されない場合は壁のゆがみが少ない方が勝ちとなります。

過去の大会実績

第11回大会 耐力壁「流しソーメン」でジャパンカップ優勝（最大荷重：20.28kn）

第10回大会 耐力壁「イタラー」で耐震部門賞（最大荷重：59.54kn）

第9回大会 耐力壁「隠れ筋かい」でトーナメント優勝（最大荷重：47.40kn）

いずれも東京大学大学院木質材料学研究室と共同研究

<アキュラホーム会社概要>

社名	株式会社アキュラホーム
代表取締役社長	宮沢俊哉
所在地	東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F
電話	03-6302-5001(代)
創業	1978(昭和53)年10月
資本金	9,314万円
従業員数	756名(09年4月1日現在)
事業	建築工事・設計施工・販売、 住宅総合研究・開発・コンサルティング
売上高	278.33億円(09年2月期)
ホームページ	http://www.aqura.co.jp